

氏名	上 田 俊 彦
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 3 2 8 号
学位授与の日付	昭和43年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	肝脳疾患特殊型の1例 —本症例と近縁疾患との比較考察—
論文審査委員	教授 奥村 二吉 教授 小坂 淳夫 教授 西本 詮

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

要旨：肝脳疾患と考えられる症例について、臨床的、脳病理学的、組織化学的並びに生化学的方面より詳細に検討し、合せて文献的考察を行った。

臨床的には比較的高令の女性であり意識障害発作を認め、従来特殊型といわれるものと殆んど一致する所見であった。肝はウイルソン氏病に特有といわれる粗大結節性肝硬変を示し、肝に銅の沈着を認め、尿中の銅排泄量は正常人の2倍に達していた。脳病理学的にはウイルソン氏病に特有といわれるオパルスキー細胞を淡蒼球並びに被殻に見出した。カルミン陽性物質を肝細胞核並びにアルツハイマーII型膠細胞の核内に認め、アミノ酸代謝に関しても特殊型に近い所見を得た。鉄染色を行ったが、肝・脳いずれも陰性であった。

以上の結果より本症例は特殊型としては、銅代謝異常、肝の病理所見並びにオパルスキー細胞出現に問題点があるため、ウイルソン氏病、猪瀬の特殊型及び肝性昏睡と比較検討し、文献的にも考察した結果、特殊型の範疇に入れるが妥当と考えた。

昭和43年4月 岡山医学会雑誌第80巻 3.4号掲載

論文審査の結果の要旨

本研究は肝脳疾患特殊型の剖検例につき脳病理組織学的に詳細に研究し、且つ広く文献的考察をなしたものである。猪瀬型とウイルソン氏病との比較検討をなしその相違するころを明らかにしたもので価値ある業績と認める。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。